

## 海洋教育ネットワーク通信 NO.16 2017年10月26日



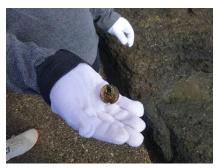
●10月10日(火)に、初声小学校1 年生(3クラス)が、矢作海岸で磯観 察を行いました。

『海博士になろう』の2回目という ことで、テーマは「海のかくれんぼ」。 子どもたちは、岩の下や、岩のすき間、 砂の中などに隠れている生き物(カ

ニ、アサリ、ヤドカリ、エビなど)を探し出します。そして、探し出した生 き物は、すべて一つの大き目の潮だまりに集めます。

次に、その潮だまりを、タッチプールに見立てるというアイデアで、クラ スごとに生き物を触っていきます。

最後に、児童は、生き物を見つけた場所に返しに行きました。アイデアに あふれた磯観察になりました。

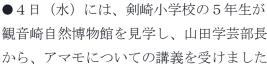




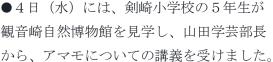


●3日(火)、名向小学校の3年生が、観音崎自然博物館を見学しました。 博物館の山田学芸部長のスライドショーによる「三浦の海の生き物」の

説明を受けた後、河野館長に「海藻おしば づくり」を指導していただきました。子ど もたちは、「むずかしい」といいつつも、 「おもしろかった」「またやりたい」と、 十分満足した様子でした。貴重な体験、学 習をさせていただきました。







●17日(火)に、読売新聞の記者が、旭小学

校の海洋教育の取組を取材しに来ました。

当日、多種類の魚を持ってきてくれていた保護者は、「土曜参観で、子どもたち のすばらしい発表を見て、協力して良かったと思った」と話していました。

記者は、飼育係が水槽にエサを入れる場面を見たり、飼育委員にインタビュー をしたりしていました。その後、1年生が取り組んだ海の生き物のちぎり絵や2



年生の観察記録などを取材しました。2年生の子 どもたちは、一生懸命、自分の観察記録について 説明していました。

記者は、最後に、子どもたちの活動の様子や生 き生きした表情に、「素晴らしい取組に心が和み ました」という感想を漏らしていました。





(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育についてのお問い合わせは、本研究所まで(046-854-9443)